

産業廃棄物処理計画書

年 月 日

福山市長 様

提出者

住所 広島県福山市川口町一丁目16番35号

氏名 平和建設 株式会社

代表取締役 岡田 吉弘

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 084-953-2711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	平和建設株式会社
事業場の所在地	福山市川口町1丁目16-35
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	前年度の総請負金額 2,155百万円
③従業員数	41人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり
(管理体制図)		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり
①現状	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項		別紙 1, 2 のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】	別紙 1, 2 のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(2022年度)実績量

計画：今年度(2023年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	1.1	1.09									1.1	1.09			1.1	1.09				
廃プラスチック類	15.48	15.33									15.48	15.33			15.48	15.33				
紙くず	2.10	2.08									2.10	2.08			2.10	2.08				
木くず	123.47	122.24									123.47	122.24			123.47	122.24				
繊維くず	0.02	0.02									0.02	0.02			0.02	0.02				
金属くず	6.88	6.81									6.88	6.81			6.88	6.81				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4.10	4.06									4.10	4.06			4.10	4.06				
がれき類	41.70	41.28									41.70	41.28			41.70	41.28				
混合廃棄物	5.59	5.53									5.59	5.53			5.59	5.53				
廃石膏ボード	12.60	12.47									12.60	12.47			12.60	12.47				
コンクリートくず	1054.90	200.00									1054.90	200.00			1054.90	200.00				
アスコンがら	478.20	200.00									478.20	200.00			478.20	200.00				
石綿含有産業廃棄物	1.90	1.88									1.90	1.88			1.90	1.88				
合計	1748.04	613	0	0	0	0	0	0	0	0	1748.04	613	0	0	1748.04	613	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	前年度総請負金額 1,268百万円
③従業員数	43人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3の通り

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙を参照)

別紙4の通り

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	(これまでに実施した取組)
①現状	現場で使用した後の廃材(木材、土のう袋など)を再利用している。
	(今後実施する予定の取組)
②計画	施工方法や作業方法を見直し、建設資材等の効率的利用を図る。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
①現状	木くず：建設現場で発生した廃材の中で、木杭や算木として再利用できそうな物を選別している。
	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	引き続き建設現場で発生した廃材の中で木杭や算木として再利用できるものを選別する。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	(これまでに実施した取組)
①現状	建設現場で発生する廃材は、再利用できそうなものを選別し、木杭や算木に再生している。
	(今後実施する予定の取組)
②計画	引き続き建設現場で発生する廃材は、再利用できそうな部材等を選別し、木杭や算木に再生する。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	(これまでに実施した取組)
①現状	これまでに、自社で中間処理を行ったことは無い。
	(今後実施する予定の取組)
②計画	引き続き自社で中間処理を行う予定はない。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

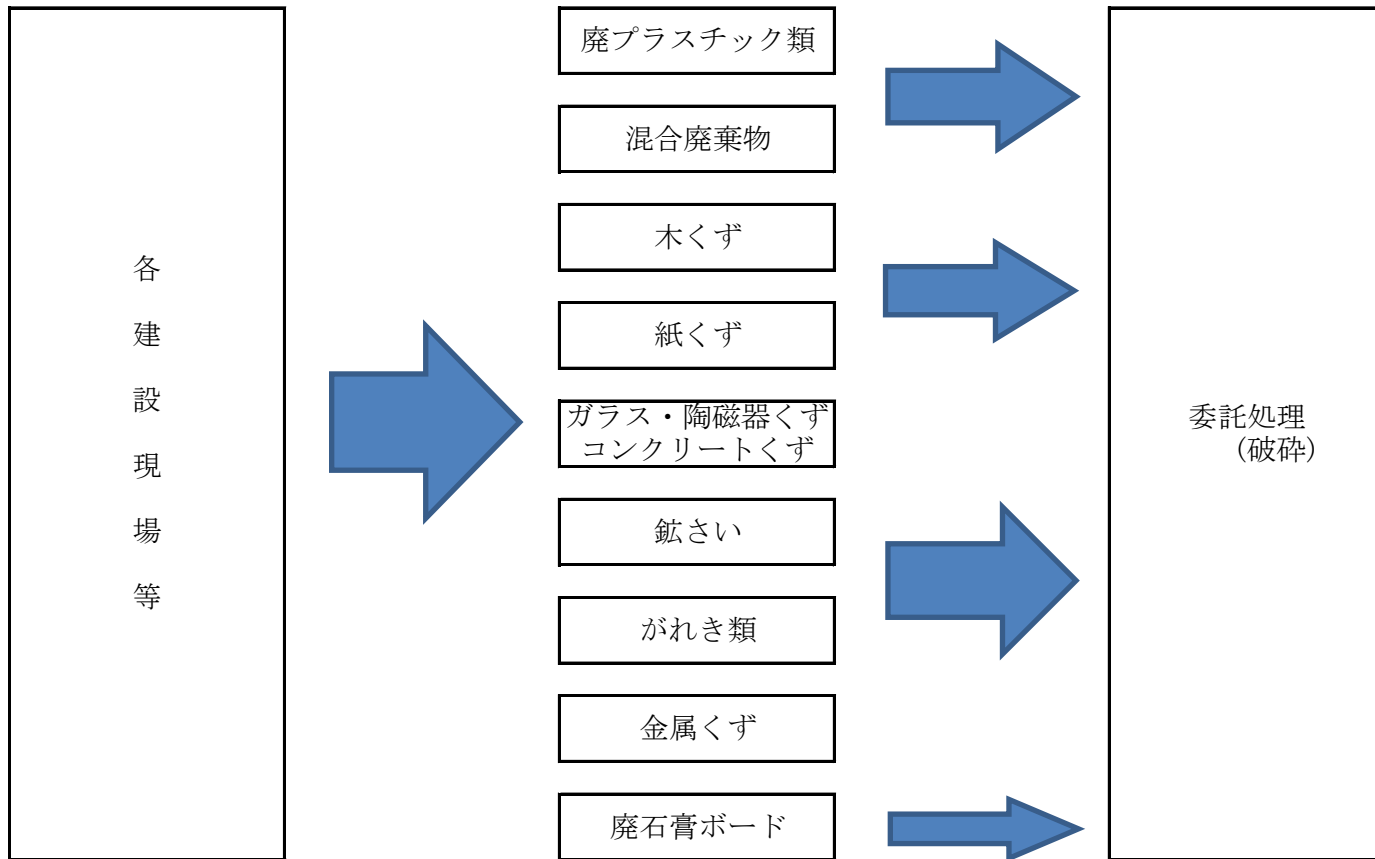
	(これまでに実施した取組)
①現状	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことは無い。
	(今後実施する予定の取組)
②計画	引き続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	(これまでに実施した取組)
①現状	建設現場で発生する様々な産業廃棄物の再生利用ができる処理業者へ処理を委託している。
	(今後実施する予定の取組)
②計画	引き続き、建設現場で発生する様々な産業廃棄物の再生利用ができる処理業者へ処理を委託する。

別紙3 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

産業廃棄物の一連の処理の工程



管理体制図

